

大きなゴミはSDGsに関係しているのかな？

大きなゴミは SDGsに**深く関係**しています。特に「つくる責任 つかう責任」(目標12)と「海の豊かさを守ろう」(目標14)に密接に関係しており、廃棄物の削減、リサイクル、適正な処理はこれらの目標達成に不可欠です。

そもそも大きなゴミは減らせるの？

大きなゴミの問題はSDGs(持続可能な開発目標)によって減らせます。

特に以下の目標と関連が深いです。

1. 目標12「つくる責任 つかう責任」

これはゴミ問題全体に最も深く関わる目標です。

- ターゲット12.5では、2030年までに、ごみの発生そのものを防いだり、減らしたり、リサイクル・リユースを通じて、廃棄物の発生量を大きく減らすことを目指しています。
- 大型ごみの場合、家具や家電などをすぐに捨てずに修理して使い続けたり(リユース)、中古品として売買したりする取り組みがこれに該当します。また、製造者側にも、長く使える製品設計やリサイクルしやすい素材選びといった「つくる責任」が求められます。

大きなゴミは減らせるの？ <続き>

2. 目標11「住み続けられるまちづくりを」

適切にごみを処理し、生活環境を改善することは、住みやすいまちづくりにつながります。大型ごみの不法投棄を防ぎ、適切な回収・処理システムを構築することは、この目標の達成に不可欠です。

3. 目標14「海の豊かさを守ろう」

海洋プラスチックごみ問題が注目されがちですが、適切に処理されなかった大型ごみが河川などを經由して海に流出することも、海洋汚染の原因となります。大型ごみの削減・適切な管理は、海洋生態系の保護にも貢献します。

大きなゴミは大きな被害をもたらす!?

<知っている人の割合は？>

知っている人・・・39%

知らない人・・・61%

結構少ないんです！



大きなゴミは大きな被害をもたらす!?! <続き>

大きなゴミは、その「大きさ」と「放置される状況」によって、環境、インフラ、安全保障など、様々な側面で深刻な被害をもたらす可能性があります。

具体的な被害の例をいくつか順に挙げます。

被害1個目

1. 環境と生態系への被害

- 海洋汚染と生態系破壊: 海に流出した大型のゴミ(漁網、コンテナ、家電など)は、海洋生物が絡まったり、誤飲したりして命を落とす原因となります。また、海底に堆積してサンゴ礁などの生態系を破壊することもあります。
- 景観の悪化と観光業への打撃: 大きなゴミが散乱した場所は景観が悪化し、観光地の魅力が低下することで地域経済に深刻な影響を与えます。

大きなゴミは大きな被害をもたらす!?!<続き>

被害2個目

2. インフラと経済活動への被害

- 航行の妨げと船舶事故: 海洋上の大型ゴミは、船舶のスクリューに絡まったり、衝突したりすることで航行を妨げ、事故の原因となります[1]。
- 下水・排水システムの詰まり: 都市部では、大きなゴミが排水溝や下水道を塞ぎ、豪雨時の浸水被害を拡大させることがあります。
- 処理コストの増大: 大型ゴミの回収、運搬、処理には多大なコスト(税金)がかかります。

大きなゴミは大きな被害をもたらす!?!<続き>

被害3個目 3. 安全性への被害

- **自然災害時の二次被害**：地震や台風などの災害時に、放置されていた大きなゴミや廃棄物が凶器となって飛散したり、避難経路を塞いだりして、被害を拡大させる危険性があります。
- **有害物質の流出**：大型家電やバッテリーなど、有害物質を含むゴミが不適切に投棄された場合、土壌や水源を汚染し、人々の健康に直接的な被害をもたらす可能性があります。

このように、単なる「ゴミ」であっても、そのサイズや内容によっては、社会全体に甚大な被害を及ぼす可能性があるため、適切な分別と処理が非常に重要です。

手入れをすれば問題を防ぐことが可能!?

定期的な手入れ(適切な処理と清掃)を行うことで、大きなゴミがもたらす被害は大幅に軽減または解消できます。ゴミを放置すると、環境汚染、生態系への被害、健康リスク、景観の悪化など様々な問題を引き起こしますが、これらは適切な管理によって防ぐことが可能です。

手入れをすれば問題を防ぐことが可能!?!<続き>

手入れ(対策)による解決定期的な手入れや対策は、これらの被害を防ぐ上で非常に効果的です。

- 適切な処理と分別: ゴミを自治体のルールに従って正しく分別し、指定された方法で出すことが基本です。粗大ゴミは自治体の回収や不用品回収業者を利用して適切に処理します。
- 発生抑制(リデュース): マイバッグやマイボトルを使用する、詰め替え製品を選ぶ、本当に必要なものだけを購入するなど、ゴミ自体の発生を減らす取り組みが最も重要です。

すべてのまとめ

大きなごみは気をつけないとSDGsや被害が悪化してしまう可能性があるため1ヶ月に1回は物の手入れをしていきましょう。

そうすれば問題を防ぐことができます。